

2014年5月4日
株式会社日立製作所

日立とフリッド・アーマッド・ジュファリ社が ガス絶縁開閉装置事業に関する合弁会社を設立

株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO: 東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、サウジアラビア王国(以下、サウジアラビア)ジェッダ市に本拠地を置く財閥企業 Juffali 社の傘下である Walid Ahmad Juffali Company Limited(フリッド・アーマッド・ジュファリ社/以下、WJCO 社)と、ガス絶縁開閉装置事業に関する合弁会社を 2015 年 1 月に設立することで合意しました。合弁会社の出資比率は日立が 51%、WJCO 社が 49%で、主にガス絶縁開閉装置の設計から組立、据付、販売などを行うほか、変電所における設計から調達、建設、保守など工程を一括して担当します。

新興国の電力需要の拡大や先進国の老朽化した送配電インフラの更新需要に加え、近年の自然エネルギーの導入拡大に伴い、さまざまな電力流通に関するインフラ整備のニーズが高まっています。

中東では、人口増加や経済成長を背景に、急激な電力需要の増加から、送配電インフラの増強が急務となっており、特にサウジアラビアでは電力流通分野で欠かせないガス絶縁開閉装置において、世界でも圧倒的な市場ニーズがあり、今後も更なる需要の拡大が見込まれています。

日立は、グローバル市場における電力流通事業の拡大を目的に、製造やエンジニアリングを行う事業会社を既にアトランタ、蘇州、山東、台中、ジャカルタ、シンガポールに設立し、グローバルな事業展開を推進しています。

今回、サウジアラビアにおいても、長期にわたり友好関係にある Juffali グループの WJCO 社をパートナーとして、ガス絶縁開閉装置を主体とした電力流通事業を行う合弁会社を設立することに合意しました。

日立は、1970 年代からサウジアラビアやクウェート国などを中心に、多くの変電所の建設実績があります。また、Juffali グループは、1978 年以来、日立のサウジアラビアにおける現地協力先として、日立の変電所事業の遂行に貢献してきました。今回の合弁会社の設立により、日立の持つ技術力と WJCO 社のサウジアラビア市場における優位性を融合し、高い信頼性の機器とサービスを提供します。

本日、サウジアラビア政府高官と日本の茂木経済産業大臣ご臨席の下、調印式が行われました。当事業は、一般財団法人中東協力センターの「日本・サウジアラビア産業協力事業」の支援対象となっています。

日立は、グローバル生産拠点やエンジニアリング拠点を中心に、今後も電力流通インフラの整備、拡充が求められる国や地域のニーズに応え、系統全体のシステムソリューションを提供してまいります。

■WJCO 社(Walid Ahmad Juffali Company Limited)について

WJCO 社は、サウジアラビア王国ジェッタ市に本社を置き、高度な技術でサービス、ソリューションを提供しています。その事業は、エネルギーを含む社会インフラ、建設、保険、エンジニアリング、医療、など幅広い分野に関与しています。

■新会社の概要

項目	内容
商号	Hitachi T&D Systems Saudi Arabia Ltd.(仮称)
本店所在地	Juffali 本社ビル内 ジェッタ市、サウジアラビア
設立予定日	2015年1月1日
資本金	約11億円(出資比率:日立51%、WJCO社49%)
代表者	未定
従業員数	約20名(2020年に約170名の予定)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
